

新しい  
診療所の  
かたち

# しおや消化器内科クリニック (さいたま市中央区)

## 地域で充実した検査体制を整備し 検査へのアウトリーチを担う

さいたま市中央区に2014年に開院したしおや消化器内科クリニックでは、CTなどの大型画像診断装置を含め、多様な検査に院内で対応。初診から検査、結果までの期間を短縮することで、患者の早期発見に努めている。

撮影：関口宏紀



CTによる画像診断は、検査日から最短で翌日には結果を知ることができる



「患者さんが不安に思う時間を少しでも短くできるようにしたいです」と語る塩屋雄史院長

待合スペースは木目とビタミカラーで明るさを演出



診察室は落ち着いた雰囲気を意識してブルー系を基調としている



CT以外にも塩屋院長が得意とする内視鏡や、レントゲン、エコー検査も完備

**診療所DATA**  
しおや消化器内科クリニック  
診療内容：内科、消化器内科  
住所：さいたま市中央区本町東3-3-3  
電話：048-840-4082  
http://www.shioya-clinic.com/  
アクセス：JR埼京線与野本町駅徒歩3分

大病院では長時間待たされ、診療所では十分な検査ができない。こうした患者の不満を解消する新しい形の診療所が、しおや消化器内科クリニックだ。「病院とクリニックの中間的役割」を基本理念に掲げ、病院並みの検査ができる体制を敷き、早期発見・治療に尽力している。

塩屋雄史院長は、「勤務医時代、患者さんから検査まで時間がかったと言われました。診療所が依頼し、依頼先の病院で数週間待たされるというケースも珍しくありません。患者さんを長期間不安にさせないために、気になればすぐに充実した検査が受けられる環境をつくりたいと考えました。総合病院の外來機能を、地域に持って来たイメージです」と話す。

現在は採血、エコー、レントゲン、上部下部内視鏡のほか、CTといった大型画像診断装置も完備。採血なら30分〜1時間、CTでも撮影翌日には結果がわかるといふ。イニシャルやランニングコストが気になるが、競合との差別化はもちろん、「早く検査してもらえ、結果もすぐわかる」というブランド確立にも貢献。周辺の医療機関からの検査依頼も増えてきたことで、十分ペイできつつあるという。

また、こうしたハードの整備を進める一方で、患者へより迅速な検査や診療を届けるため、業務効率向上に向けたスタッフのタスクシエアにも取り組んでいる。たとえば看護師の場合、リーダー、内視鏡検査、診療―などの日常業務を、常勤・非常勤含め6人の看護師が日替わりで担当。全員がどの業務にも対応できるようにしている。

「以前はリーダーや内視鏡担当と割り振っていたのですが、逆にその人たちが育児などで休みがちになったとき、オペレーションがぎくしゃくして困ったことがありました。今は若手も当番制でリーダー業務もしますし、皆が標準的にできるようにすることで、誰かが休んだときのカバーや、たとえば検査や診療が混雑した際のヘルプにも誰でもすぐに対応できるようにになりました」と、塩屋院長は説明する。今後医療事務のスタッフについても、カルテの代行入力といったクラーク業務の分担を進めていく予定だという。